

エコアクション21

環境経営レポート

実施期間：2023 年 4月1日 ～2024 年 3 月 31日



有限会社 西光製作所

作成日：2024年 8月 25日

改定日：2024年 9月 11日

目 次

1. 会社概要と組織, 対象範囲	-----	P. 1
2. 環境経営方針	-----	P. 2
3. 実施体制図	-----	P. 3
4. 環境経営目標	-----	P. 4
5. 環境経営計画・実施・次年度の取組み	-----	P. 5
6. 環境経営目標の実績	-----	P. 6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	P. 7
8. 代表者による全体評価と見直し・指示	-----	P. 8
9. 次年度以降の環境経営目標	-----	P. 9
10 参考 各種事業活動データの推移	-----	P. 10

1. 会社概要と対象範囲

☐ 会社概要

(1) 事業所名

有限会社 西光製作所

(2) 代表者名

代表取締役 加藤 紀彦

(3) 所在地

今年度審査対象：本社・工場

・本社工場 〒448-0006 愛知県刈谷市西境町蒲生池96番地1

(4) 環境管理責任者及び連絡先

顧問 佐藤 正弘

T e l (0 5 6 5 - 3 6 - 5 6 5 9)

F a x (0 5 6 6 - 3 6 - 5 9 1 2)

(5) 事業活動の内容

金属プレスによる自動車部品の製造

(6) 事業規模

設 立 1 9 7 5 年

資本金 8 0 0 万円

売上高 本社 2 5 3 百万円 (全体2023年度)

従業員 本社 2 0 人 (2023年3月現在)

正規従業員 3 人

パート 1 7 人

(7) 事業年度 4 月 ~ 翌年3月

☐ 認証・登録の対象組織及び活動

登録事業者名 有限会社 西光製作所

対象組織 本社・工場

対象活動 事業活動の内容通り

2. 環境経営方針

(1) 環境経営理念

当社は、自動車部品の金属プレスによる加工品を製造する事業活動において、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムの構築及び運用をすることにより、自主的・積極的に環境への取組みを継続し、省エネ、省資源活動に取り組めます。

(2) 行動指針

1) 当社に適用される環境関連法規や同意するその他の要求事項を遵守します。

2) 次の事項について具体的な環境目標・環境活動計画を定め実施いたします。

- ① 省エネルギーに取り組む二酸化炭素の排出量を削減します。
- ② 分別の徹底・リサイクルの推進につとめ廃棄物排出量を削減します。
- ③ 節水につとめ水の使用量を削減します。
- ④ 環境に配慮した製品の提供や生産方式の改善に努めます。
- ⑤ 不良の削減や歩留り向上に取り組めます。
- ⑥ 工場周りの清掃を行います。

3) 本方針を全従業員に周知徹底します。

4) SDGs（持続可能な社会づくり）に取り組めます。

制定日：2018年7月10日

制定日：2021年4月14日

有限会社 西光製作所

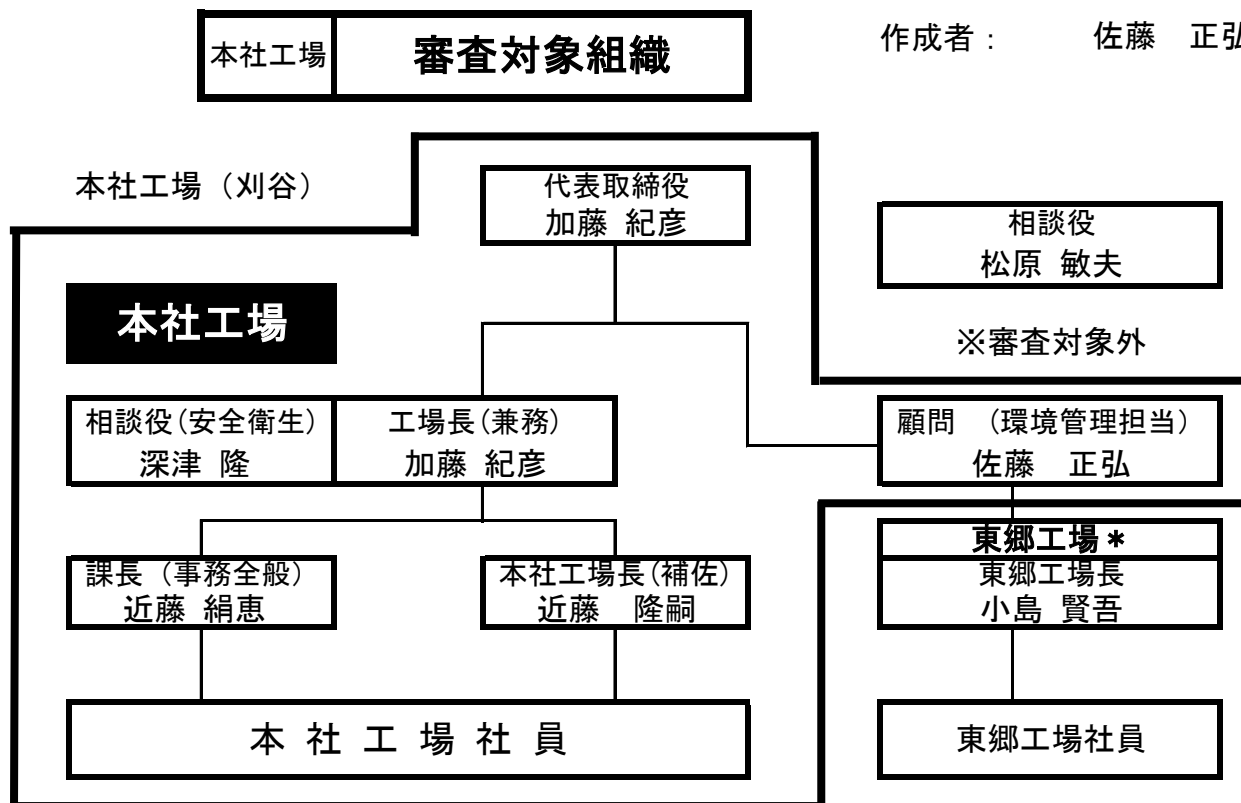
代表取締役

加藤 紀彦

3. 実施体制図

発行日： 2024年4月1日

作成者： 佐藤 正弘



*2025年春 閉鎖予定

役割・責任・権限表

役 割	責 任 ・ 権 限
代表取締役 (社長)	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境方針の策定、資源の準備（人・設備・費用等） ・ 代表者による全体の評価と見直し
環境管理担当	・ 代表者と共に環境経営システムの構築、実施、維持管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ遵守評価の実施 ・ 環境目標の達成状況、環境活動計画書の作成と運用結果まとめ ・ 環境関連法規の遵守状況を代表者に報告 ・ 手順書の作成、教育訓練の実施、外部からの苦情受付対応と記録 ・ 環境活動レポートの作成
事務担当 工場長	・ 環境経営関連文書及び記録の作成、文書の記録及び管理 ・ 取組み実施、実施状況の確認・記録
従業員	・ 環境方針・環境目標・活動計画を理解して取り組む

4. 環境経営目標

本社工場（刈谷）

作成日：2023年3月30日

原単位の基準：年間売上高 12,000 万円

環境経営方針	環境経営目標	目標種別	単位	刈谷本社 削減目標・取組み頻度			
				'19年4月 ～ '20年3月	'21年4月 ～ '22年3月	'22年4月 ～ '23年3月	'23年4月 ～ '24年3月
				基準年 実績値	目標削減率 1%減	目標削減率 2%	目標削減率 3%
二酸化炭素排出量 の削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	Kg-CO ₂	52,954	52,424	51,895	51,365
		原単位	Kg-CO ₂ /万円	4.41	4.37	4.32	4.28
	電力の使用量削減	総量	KWh	88,200	87,318	86,436	85,554
		原単位	KWh/万円	7.35	7.28	7.20	7.13
	ガソリンの使用量削減	総量	L	2,717	2,690	2,663	2,635
		原単位	L/万円	0.23	0.22	0.22	0.22
	軽油の使用量削減	総量	L	1,946	1,927	1,907	1,888
		原単位	L/万円	0.16	0.16	0.16	0.16
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	総量	Kg	542	537	531	526
	産業廃棄物の削減*	総量	Kg	鉄スクラップ（有価物）の実績値の把握			
水使用量の削減	水使用量の削減	総量	m ³	713	706	699	692
生産方式の改善	生産効率を考慮した金型製作 作業段取りの効率化	実施件数	1件/1件 以上	—	1件/1型 以上	1件/1型 以上	1件/1型 以上
不良の削減	製造工程における 不適合品の流出防止	不良件数 (社外流出)		1社/1件	各社1件 以下	各社1件 以下	各社1件 以下
地域社会との連携	工場周辺の清掃	実施回数	実施回数	1回/3ヶ月	1回/3ヶ月 以上	1回/3ヶ月 以上	1回/3ヶ月 以上

- CO₂換算係数（調整後）：中部電力 2017年度 0.472kg-CO₂/kWhを使用した。
- *有価物である鉄スクラップは生産量と連動する為、削減目標は定めず実績値を記録、管理する。
- 化学物質（PRTTR対象物質）は使用していません。

5. 環境経営計画・実施・次年度の取組み

取組み期間： 2023年 4月～2024年 3月

環境経営方針	環境経営計画	取組み内容の具体的項目	結果	コメント 次年度の取組み
事業拡大	東郷工場のエネルギー使用量	・工場エネルギー使用量を刈谷本社と同項目で把握	○	・継続実施をする
二酸化炭素排出量の削減	電力の使用量削減	・工場稼働の寄せ止め（稼働停止日を決定） （客先稼働停止に伴い事前把握し調整した）	○	・継続実施をする
		・不要照明の消灯 （昼休み時、事務所不在時は消灯の徹底）	○	・継続実施をする
		・冷暖房温度管理 基本（冷房28℃・暖房20℃）	○	・継続実施をする （猛暑時従業員の体調管理を最優先）
		・冷暖房機のフィルター2回/年清掃 （夏・冬 連休前）	○	・継続実施をする
		・OA機器の省電力 P C, モニター節電設定、電源切りの徹底	○	・継続実施をする
		・コンプレッサー：アイドリング時間短縮 （30分間）	○	・継続実施をする
	輸送便（軽油）消費量の低減	・A社：輸送便 20回/月（毎日）→隔日（10回/月） ・B社：輸送便 10回/月（隔日）→4回（1回/週） ・C社：輸送便を隔日日で設定	○	・継続実施をする
産業廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底、再利用の推進	○	・継続実施
	産業廃棄物の削減＊	・鉄スクラップの実績記録と管理	○	・継続実施
水使用量の削減	水使用量の削減	・節水意識の啓蒙 ・漏洩時に早期修理の対応	○	・節水意識の啓蒙を継承
生産方式の改善	生産効率化考慮した金型の製作作業段取りの効率化	・効率化を求めた金型製作 ・工数及び費用の低減	○	・型仕様の小型化を意識した製作（安価・短納期） ・段取り時間の効率化
	製造工程における不適合品の流出防止	・不良データの収集と原因追及（B社と昨年交渉実施） ・顧客からの定期的な品質点検の実施・対応	○	・1社3件（小不良）2社0件 ・今後も継続実施
地域社会との連携	環境美化活動の推進 工場周辺の清掃	・会社周辺地域の清掃（12回/年実施） ※刈谷本社：公道堺の清掃実施	○	・季節に合わせた美化活動実施の取組み（次年度継続実施）
法の順守	東郷工場の法対応	・特定施設（プレス、コンプレッサー）設置届け書提出 ・プレス、リフト法定点検実施	○	・継続して対応をする

結果 ○：良い △：普通 ×：悪い

6-1. 環境経営目標の実績

本社工場（刈谷）

作成日：2024年6月28日

原単位基準：年間売上高 12,000 万円
（2019年4月～2020年3月）

原単位の基準：年間売上高 12,715 万円
（2023年4月～2024年3月）

環境経営方針	環境経営目標	目標種別	単位	削減目標・取組み頻度					
				19年4月 ～ 20年3月	2023年4月～2024年3月				
				基準年度	削減目標	目標数値	実績数値	削減率	評価
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	Kg-CO ₂	52,954	3%	51,365	40,482	24%	○
		原単位	Kg-CO ₂ /万円	4.41	3%	4.28	3.18	28%	○
	電力使用量削減	総量	KWh	88,200	3%	85,554	77,851	12%	○
		原単位	KWh/万円	7.36	3%	7.14	6.12	17%	○
	ガソリン使用量削減	総量	L	2,717	3%	2,635	1,609	41%	○
		原単位	L/万円	0.23	3%	0.22	0.13	44%	○
	軽油使用量削減	総量	L	1,946	3%	1,888	0	—	○
		原単位	L/万円	0.16	3%	0.16	0	—	○
産業廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	総量	Kg	542	3%	526	304	44%	○
	産業廃棄物の削減*	総量	Kg	—	—	—	288,705	—	○
水使用量の削減	水使用量の削減	総量	m ³	713	3%	692	637	11%	○
生産方式の改善	生産効率を考慮した金型製作	提案件数	件	1	—	2	新部品発注なし	—	—
	製造工程における不適合品の流出防止	不良件数 (社外流出)	個	—	—	各社1件以下	全3社 2社0件 1社3件	—	○
地域社会との連携	工場周辺の清掃	回数	回数	—	—	4回/1年	4回/1年	—	○

- CO₂換算係数（調整後）：中部電力 2017年度（2018年12月公表）0.472kg-CO₂/kWh を使
- *有価物である鉄クラップは生産量と連動する為、削減目標は定めず実績値を記録、管理する。
- 化学物質（PRT R対象物質）は使用していません。
- 削減率% = 1 - （実績値/基準値）

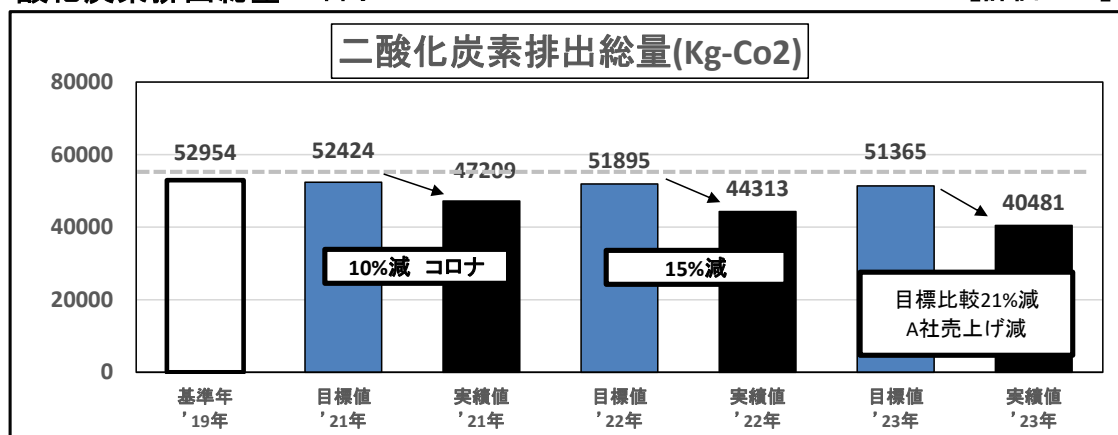
6-2. 環境経営目標の実績推移グラフ

本社工場（刈谷）

作成日：2024年6月28日

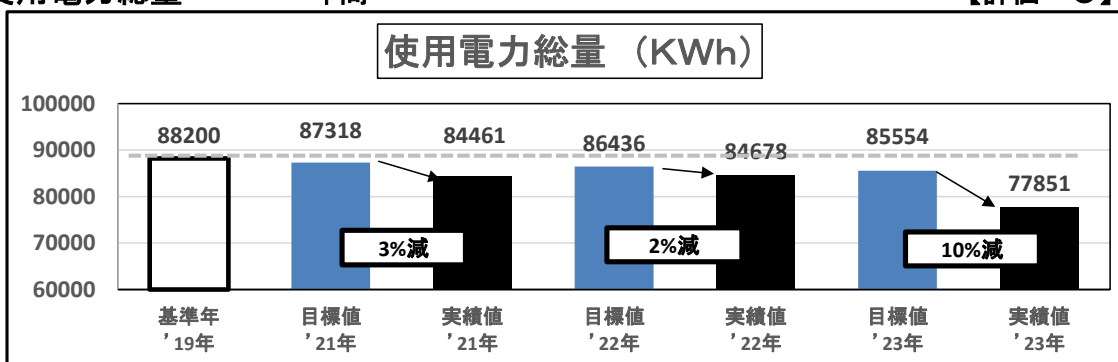
(1) 二酸化炭素排出総量 年間

【評価 ○】



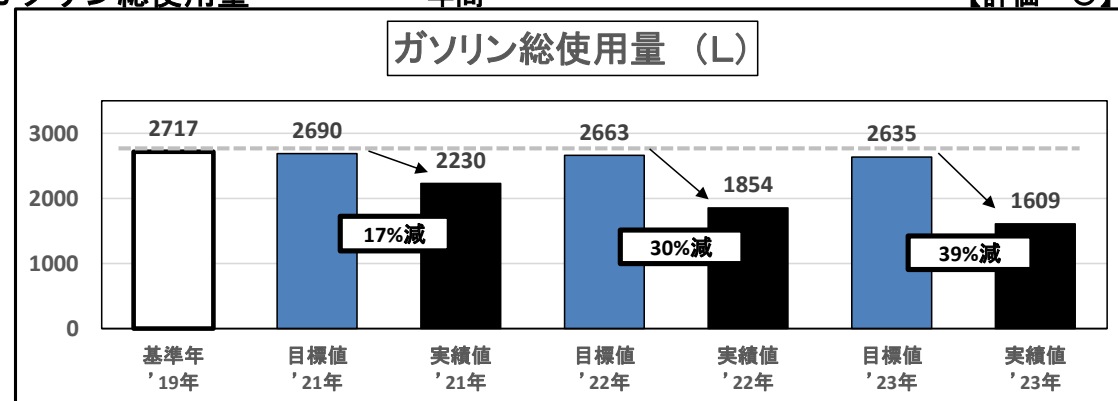
(2) 使用電力総量 年間

【評価 ○】



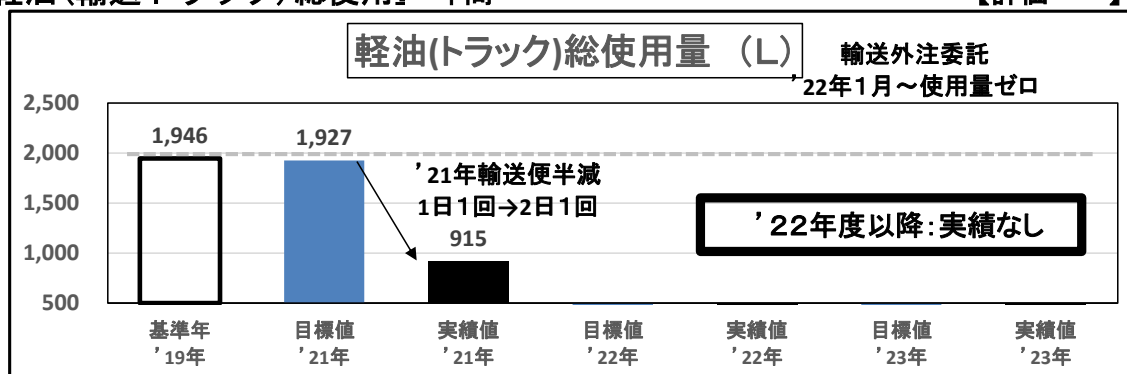
(3) ガソリン総使用量 年間

【評価 ○】



(4) 軽油(輸送トラック)総使用量 年間

【評価 —】



7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

作成日：2024年4月1日

環境関連法	法の基準・規制値	当社の対応	遵守評価
廃棄物処理法	事業活動に伴って生じた廃棄物の適正な処理	家庭ゴミ程度で対象外	—
	処理をする場合は委託基準を遵守する マニフェスト交付状況等の提出	産業廃棄物・運搬委託 基本契約書の締結	実施
公害防止組織法	特定工場における公害防止組織の整備に関する 法律において市長への届出を義務付け	騒音・振動公害防止管理 者の専任	実施
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石綿含有建材調査が 必要で事前調査結果を報告する義務がる	運用期間中に建築物 該当 工事なし	該当なし
騒音規制法	特定施設の届出（機械プレス、空気圧縮機） 規制基準の遵守義務	届出の実施	実施
振動規制法	特定施設の届出（機械プレス、空気圧縮機） 規制基準の遵守義務	届出の実施	実施
家電リサイクル法	指定家電の回収処理（テレビ・冷蔵庫他） 収集の運搬料とリサイクル費用の支払い	運用期間中家電品の 廃棄なし	該当なし
PＣリサイクル法	PＣの回収処理（パソコン本体・モニタ） 収集の運搬料とリサイクル費用の支払い	運用期間中にPＣ品 廃棄なし	該当なし
自動車リサイクル法 (使用済み自動車)	自動車の回収処理 引取り業者より引取証明書の受領	購入なし	該当なし
フロン排出抑制法	フロン使用製品の簡易点検義務化（1回/3ヶ月）	簡易点検の実施 （エアコン・スポットクーラー）	実施
浄化槽法	浄化槽設置の届出 法定点検（年1回）保守・清掃の実施	定期検査・清掃の確認	実施
消防法	潤滑油（オイル）の適正管理 消火器の設置基準の遵守	保管量の確認 設置基準の遵守 操作方法の表示	実施
県民の生活環境の 保全等に関する条例	アイドリングストップの周知	工場外壁に看板表示 社用車に看板で明示	実施

※1. 環境関連法規の遵守評価結果は違反はありません。なお関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

2. 遵守評価欄の○は適正、一は当該期間に対象の項目はないものとししました。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

実施日

2024年6月30日

1. 環境管理責任者による見直しに必要なコメント

佐藤 正弘

項 目	コメント
1. 環境関連法規制の遵守状況	環境法の遵守はできた（大気汚染防止法：石綿を含む建築等） 今年度該当関連工事はありません
2. 環境経営目標の達成状況 （達成できた場合は設定方法・レベルに問題が なかったか、未達成の場合は原因の記載）	・本社工場エネルギー全体量の低減達成ができました 前期（4～10月）は生産量、稼働時間は例年並みに推移、 夏場猛暑で電力消費増加 後半刈谷本社は事業拡大で繁忙 客先の生産停止で部品の 生産数（減少）が変動した
3. 環境経営活動計画の実施・運用結果 （取組みに問題がなかったか、次年度の 取組み等について記載）	本社工場輸送便は全て社外委託で燃料（軽油）消費はありません 1～3月に車両認証不具合で売上（生産量）が30%減少した 工場稼働を計15日、間計画敵的に停止で使用エネルギーを低減
4. 外部からの環境関連の苦情や要望	近隣住民からの苦情・要望等はありません
5. その他変更の必要な項目等	なし

2. 代表者による変更の必要性の判断

代表者

加藤 紀彦

変更の必要性事項	変更の判断	変更の理由
1. 法規制等の遵守状況	☐ 有 ・ ☒ 無	
2. 環境経営方針の変更	☐ 有 ・ ☒ 無	
3. 環境経営目標の変更	☐ 有 ・ ☒ 無	
4. 環境経営活動計画の変更	☐ 有 ・ ☒ 無	
5. 環境経営システムの変更	☐ 有 ・ ☒ 無	
6. その他変更の必要な項目等	☐ 有 ・ ☒ 無	

3. 代表者によるコメント

加藤 紀彦

・本社工場全体と拡大事業の環境整備を実施しました ①コンプレッサー室外板整備（老朽化対応） ②トイレ改修（小水量、省エネ、照明LED化） ③工場内の配電盤周辺整備（ホコリ対策） ・新規顧客との取引ができて事業拡大し最優先事業とする ・次年度 ①品質マネジメント（ISO9001）認証に取組みます（2024年後半から取組） ②工場再編を検討中 事業規模（場所・工場）の見直しを検討中です

9. 次年度以降の環境経営目標

本社工場（刈谷）

作成日：2024年9月11日

原単位の基準：2022年間売上高	13,430	万円
------------------	--------	----

* 2024年～2026年の3年間の目標値は以下の通りとする。

環境経営方針	環境経営目標	目標種別	単位	削減目標・取組み頻度			
				22年4月 ～ 23年3月	24年4月 ～ 25年3月	25年4月 ～ 26年5月	26年4月 ～ 27年6月
				基準年 実績値	目標削減率 1%減	目標削減率 2%	目標削減率 3%
二酸化炭素排出量 の削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO2	43,210	基準年比 1%削減	基準年比 2%削減	基準年比 3%削減
		原単位	kg-CO2/万円	3.22			
	電力の使用量削減	総量	kWh	84,768			
		原単位	kWh /万円	6.31			
	ガソリンの使用量削減	総量	L	1,854			
		原単位	L/万円	0.14			
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	総量	kg	340	1%削減	2%削減	3%削減
	産業廃棄物の削減*	総量	kg	297,265	実績値を記録		
水使用量の削減	水使用量の削減	総量	m3	637	1%削減	2%削減	3%削減
生産方式の改善	生産効率を考慮した金型製作 作業段取りの効率化	実施件数	1件/1件 以上	—	1件/1型 以上	1件/1型 以上	1件/1型 以上
不良の削減	製造工程における 不適合品の流出防止	不良件数 (社外流出)	各社単位	—	各社1件 以下	各社1件 以下	各社1件 以下
地域社会との連携	工場周辺の清掃	実施回数	実施回数	1回/3ヶ月	1回/3ヶ月 以上	1回/3ヶ月 以上	1回/3ヶ月 以上

- CO₂換算係数（調整後）：中部電力 2022年度 0.459kg-CO₂/kWhを使用した。
- * 有価物である鉄クランプは生産量と連動する為、削減目標は定めず実績値を記録、管理する。
- 化学物質（PRT R対象物質）は使用していません。

10. 【参考】各種事業活動データの推移

指 標	単位	備考	('23年 4 月～ '24 年 3 月)	('22年 4 月～ '23 年 3 月)	('21 年 4 月～ '22 年 3 月)	('20 年 4 月～ '21 年 3 月)	('19 年 4 月～ '20 年 3 月)	('18 年 4 月～ '19 年 3 月)
従業員数	人		15	18	14	18	22	22
売上高 (刈谷本社)	万円		12,715	13,430	13,595	11,525	12,000	13,800
床面積	m2		470	470	470	470	470	470
生産高	万円	加工高＝部品売上額－ 有償部品－鋼板購入額	7,324	5,665	4,018	5850	5031	
総CO2 排出量	kg-CO2		40,482	44,312	47,400	44,297	52,954	59,061
電力	kWh		77,851	84,768	84,461	76,374	88,200	101,130
ガソリン	L		1,609	1,854	2,230	2,230	2,717	2,844
軽油	L		0	0	915	1,192	1,946	1,833
一般廃棄物	kg		304	340	392	410	542	
鉄スクラップ	kg		288,705	297,265	323,384			
水	m3		637	637	747	766	713	947